

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY松山校(児童発達支援)			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	その日の利用者や状況に応じて、適宜可能な限りのスペースが確保できるよう事前の検討を重ねている。 安全に留意しながら、個別活動と集団活動、座ってのトレーニングや運動のトレーニングで場所を分けて工夫している。 活動に応じて、家具や教材を移動してスペースを確保している。	基準は満たしておりますが、教室の広さに限りがあるため、活動内容によっては工夫が必要な場面もあります。現在は、限られた空間の中で活動の幅を広げられるよう、環境設定の見直しやプログラムの工夫を行っております。また、特性に配慮した落ち着いて過ごせる空間の確保についても、より良い環境づくりに向けて検討を進めております。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	子どもの状態や特性に応じて、職員配置を検討し、安全に留意し支援している。	利用定員に対して適切な職員配置を行っておりますが、支援内容に応じてより丁寧な関わりができるよう、配置や役割分担の工夫を重ねながら支援の充実を図ってまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	落ち着いて過ごせる環境となるよう、積み木やお絵描きの道具などは逆に分かりやすく片付けやすい配置になっている。 ゲートをつけて、入らないように視覚的にもわかりやすくなっている。 個々の活動が確保できるように、トレーニングごとに家具や教材を移動してスペースを確保している。 整理整頓を行い、棚の上に物を置かない、物を減らすなどの工夫をしている。 利用者に分かりやすいよう、生活の流れや物の配置など説明を行なっている。	感覚刺激に敏感な児童の特性に配慮し、静かに過ごせる空間の確保や視覚的な補助の工夫をさらに進め、より安心して活動できる環境づくりに取り組んでいます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	3	児童の体調管理や部屋、送迎車の清掃・清拭などを徹底して清潔に保ち、感染予防に徹している。 教材が場所を占めているが、トレーニングしやすいよう日々置き場所に工夫がされている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	4	机の配置を適宜変更して個別の空間を作るようには意識している。	個別の部屋などを用意することができないため、必要に応じてパーテーションの導入などを検討していきたい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	日々の朝礼や、毎月のMTGで出勤者全員で振り返りをする時間を設けている。	シフトにより出勤日数や時間に差が生じることがありますが、情報の共有をより円滑に行えるよう、全員が確認しやすいツールの導入などを検討しております。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	保護者向け評価表や、面談等における内容の共有を行い、ニーズに向けた支援を行うようにしている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎日の朝礼時や、定期的なMTGを設けており、意見を出し合い必要な場合は改善し、より良い支援につながるように努めている。 話しやすい雰囲気が意識されていると感じる。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6		現在、第三者による外部評価を実施していないが今後は、必要に応じて検討していきたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2	法定研修だけでなく、毎月、カリキュラムや子どもへの対応の学びのための研修が行われている。	外部研修は参加できていないが、今後は必要に応じて参加の検討をしていきたい。
児童発達支援計画	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	個人の特徴や個性を理解しつつ、ニーズに合わせたプログラムを作成している。 期日まで適切に作成、公表を行なっている。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	1	出来る限り多くのスタッフが参加しアセスメント、モニタリングを行なうことや、保護者との面談内容を共有し、課題を検討する時間を設けている。	新しい環境の導入もあるが、アセスメントによる情報が偏らないよう、今後も支援内容の工夫に努めていきたい。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	多くのスタッフでアセスメント、モニタリングを行うことで、利用者の課題やニーズを考慮し、反映されるよう会議を開いている。	

適切な支援の提供	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	書面を印刷し利用者の個人ファイルにて、いつでも閲覧出来るようにしている。また、日々の支援内容を決める際に、支援計画の内容や課題に合わせられたものかを確認するようしている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いた「フォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	日報として行動観察した内容を印刷保存していつでも確認できる環境にしている。	
	16 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ニーズに合わせながら、本人への直接支援、園への情報共有や訪問、保護者への相談など項目に合わせながら内容設定を行なっている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	朝礼時にスタッフ間で話し合いながらプログラムを立てる時間を設けている。	経験などにより意見が一部のスタッフに偏ってしまうことがあるため、それぞれの意見が遠慮なく伝えられるよう配慮したい。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	前回の様子など話し合いながら、日々支援するスタッフが変更するようにして課題に合わせつつ、利用者が楽しめるなどを考えながら内容を考えている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	特性に合わせながら、個別として必要なこと、集団でこそ得られるものなどニーズや課題に合わせた内容を組み込んでいる。	今後も、安全面や特性を意識しながら、工夫して支援していきたい。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	毎朝の朝礼で必ず行っている。 毎日変わるメンバーを確認し、昨日までの支援まで振り返りながら、当日の内容を決めている。 支援前には適宜適切な支援が行えるようその内容や役割分担等を検討し、連携しながら業務にあたっている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	退勤時間の違いや送迎もあるためその日には出来ていないこともあるが、翌朝朝礼にて実施している。 重要なことなど可能な限り当日中に共有している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	保護者に同意を得ながら、必要であれば動画撮影も実施している。 HUGという支援ツールにより、利用日毎の利用者の様子や支援内容を記録し、日々の朝礼で振り返りやフィードバックを行うようにしている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	定期的にモニタリングを行っており進捗状況の確認を行っている。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	園への見学や面談の際には児発管と出来る限り担当職員が、相談員の方によるモニタリングが行われる際には児発管が参画するようにしている。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	まだ十分な連携関係とまでは至っていないが、地域エリアの他事業所様と、自事業所の特色などを把握し、必要に応じて地域連携を行っていくような連絡会に参加している。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	マンスリー情報などの配布をして児童の活動状況を共有している。 園や学校など、安定的に利用出来ることを目指し、必要に応じて見学や面談を行い情報共有させていただいている。	情報共有があまりできていない園もあるため、面談や見学、送迎時も含め情報共有を行っていき、連携を専門機関等と十分に意思疎通を図りながら、必要に応じて学校等と情報共有や意見交換を行い、相互理解を深めてまいりたいと考えております。
関係機関や保護者との連携	(28～30は、センターのみ回答)	4	5		現在は、保護者や関係機関からのご依頼があつた場合に対応しております。今後につきましては、まず保護者の皆さまと十分に意思疎通を図りながら、必要に応じて学校等と情報共有や意見交換を行い、相互理解を深めてまいりたいと考えております。
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				

連携	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)			松山市の連絡協議会に参画し、必要に応じて助言等いただける機会を設けている。	現在は直接的に指導等受けたことはないが、連携及び意見交換等の機会を確保していくことは大事なため、必要に応じて連携を取ってていきたい。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	7		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	子ども同士の交流はないが、事業所の活動を知ってもらうためにパンフレットを配布させていただいている。	地域の中で、活動及び交流を深める機会がより確保できるよう検討したい。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時やお迎えに来られた際など日々の支援の様子を利用時毎にお伝えしている。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	茶話会という形で定期的に開催し、保護者同士の困りごとなどの情報交換をし、必要に応じて対応などの助言を行なっている。	保護者への勉強会など、必要に応じて検討していただきたい。
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	管理者が契約時に丁寧に説明をするよう努めている。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	面談を定期的に行い、本人、保護者の意向や要望を伺った上で、計画案に同意を得た上で本案の作成をしている。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	紙面にて目を通していくだきながら、内容を説明し同意を得るようにしている。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	定期的な面談、および茶話会を実地。相談や助言については、必要に応じた対応に努めている。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	保護者参加による茶話会を定期的に行ってい る。	現在、兄弟同士での交流の場は提供していないが、今後は希望によって検討していただきたい。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	スタッフ間で周知し、迅速に対応出来るよう努めている。	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	3	マンスリーレポートとして、紙面にて毎月に情報紙を配布している。また、LINEを活用し、連絡体制の強化を行なっている。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	データや書面など持ち出し禁止といったルールの下、鍵付き書庫にて保管しながら取り扱っている。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	言語だけでなく視覚的サポートや、喋りやすい状況を意識するように努めている。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		地域内でのニーズや認知度をさらに高めていくため、必要に応じて検討したい。
安全管理	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	マニュアルを策定し、定期的に研修、訓練を行っている。	
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	BCPを策定し、定期的に研修、訓練を行い、毎年見直しを行なっている。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	初回アセスメント時や契約時てんかんや発作、アレルギー等は確認するようにしている。	予防接種は毎回の確認を行なっていない。感染予防や体調の変化といった観点からも実施を検討したい。

非常時等の対応	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		現在、飲食の提供は行なっていないが、保護者からのアレルギーによる留意を共有されている場合には、医師の指示に基づいた対応に努めている。
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全計画を作成し、訓練の実施や安全指導など行なっている。1年毎に実施時期や内容の見直しも行なっている。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	月毎に配布しているマンスリーレポートにて、実施内容の報告を行うことや、事業所内入口についてでも見られるように設置している。	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	報告書を作成し、発生時翌日の朝礼やMTGにて共有、検討して再発防止に努めている。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	定期的な研修を行ない、虐待についての知識や意識を高めるようにしている。	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0		現状起こり得てはいないが、定期的な研修を行ないながら、やむを得ない状況が想定される場合は保護者に説明、同意を得たうえで支援計画に記載するようにしていきたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	KID ACADEMY松山校(放課後等デイサービス)				公表日 2026年 2月 12日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	その日の利用者や状況に応じて、適宜可能な限りのスペースが確保できるよう事前の検討を重ねている。 安全に留意しながら、個別活動と集団活動、座ってのトレーニングや運動のトレーニングで場所を分けて工夫している。 活動に応じて、家具や教材を移動してスペースを確保している。	基準は満たしておりますが、教室の広さに限りがあるため、活動内容によっては工夫が必要な場面もあります。現在は、限られた空間の中で活動の幅を広げられるよう、環境設定の見直しやプログラムの工夫を行っております。また、特性に配慮した落ち着いて過ごせる空間の確保についても、より良い環境づくりに向けて検討を進めております。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	子どもの状態や特性に応じて、職員配置を検討し、安全に留意し支援している。	利用定員に対して適切な職員配置を行っておりますが、支援内容に応じてより丁寧な関わりができるよう、配置や役割分担の工夫を重ねながら支援の充実を図ってまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	落ち着いて過ごせる環境となるよう、積み木やお絵描きの道具などは逆に分かりやすく片付けやすい配置になっている。 ゲートをつけて、入らないように視覚的にわかりやすくなっている。 個々の活動が確保できるように、トレーニングごとに家具や教材を移動してスペースを確保している。 整理整頓を行い、棚の上に物を置かない、物を減らすなどの工夫をしている。 利用者に分かりやすいよう、生活の流れや物の配置など説明を行なっている。	感覚刺激に敏感な児童の特性に配慮し、静かに過ごせる空間の確保や視覚的な補助の工夫をさらに進め、より安心して活動できる環境づくりに取り組んでいます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	3	児童の体調管理や施設内、送迎車の清掃・清拭などを徹底して清潔に保ち、感染予防に徹している。 教材が場所を占めているが、トレーニングしやすいよう日々置き場所に工夫がされている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	4	机の配置を適宜変更して個別の空間を作るようには意識している。	個別の部屋などを用意することができないため、必要に応じてパーテーションの導入などを検討していきたい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	日々の朝礼や、毎月のMTGで出勤者全員で振り返りをする時間を設けている。	シフトにより出勤日数や時間に差が生じることがありますが、情報の共有をより円滑に行えるよう、全員が確認しやすいツールの導入などを検討しております。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	保護者向け評価表や、面談等における内容の共有を行い、ニーズに向けた支援を行うようにしている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎日の朝礼時や、定期的なMTGを設けており、意見を出し合い必要があれば改善し、より良い支援につながるように努めている。 話しやすい雰囲気が意識されていると感じる。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6		現在、第三者による外部評価を実施していないが今後は、必要に応じて検討していきたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2	法定研修だけでなく、毎月、カリキュラムや子どもへの対応の学びのための研修が行われている。	外部研修は参加できていないが、今後は必要に応じて参加の検討をしていきたい。
支援計画	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	個人の特徴や個性を理解しつつ、ニーズに合わせたプログラムを作成している。 期日まで適切に作成、公表を行なっている。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	出来る限り多くのスタッフが参加しアセスメント、モニタリングを行なうことや、保護者との面談内容を共有し、課題を検討する時間を設けている。	新しい環境の導入もあるが、アセスメントによる情報が偏らないよう、今後も支援内容の工夫に努めていきたい。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	可能な限り多くのスタッフでアセスメント、モニタリングを行うことで、利用者の課題やニーズを考え、反映されるよう会議を開いている。児童発達支援管理責任者が作成した計画書を再度検討する時間を設けておりより深く検討がなされている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	書面を印刷し利用者の個人ファイルにて、いつでも閲覧出来るようにしている。また、日々の支援内容を決める際に、支援計画の内容や課題に合わせられたものかを確認するようにしている。 職員間での意思統一を図る機会は確保されており、その計画に従って対応している。	

適切な支援の提供	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	日報として行動観察した内容を印刷保存していつでも確認できる環境にしている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ニーズに合わせながら、本人への直接支援、園への情報共有や訪問、保護者への相談など項目に合わせながら内容設定を行なっている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	朝礼時にスタッフ間で話し合いながらプログラムを立てる時間を設けている。	今後も、それぞれの意見が遠慮なく伝えられるような環境作りをしながら進めていきたい。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	前回の様子など話し合いながら、日々支援するスタッフが変更するようにして課題に合わせつつ、利用者が楽しめる考えながら内容を考えている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	特性に合わせながら、個別として必要なこと、集団でこそ得られるものなどニーズや課題に合わせた内容を組み込んでいる。	今後も、安全面や特性を意識しながら、工夫して支援していきたい。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	毎朝の朝礼で必ず行っている。 毎日変わるメンバーを確認し、昨日までの支援まで振り返りながら、当日の内容を決めている。 支援前には適宜適切な支援が行えるようその内容や役割分担等を検討し、連携しながら業務にあたっている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	退勤時間の違いや送迎もあるためその日には出来ていないこともあるが、翌朝朝礼にて実施している。 重要なことなど可能な限り当日中に共有している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	保護者に同意を得ながら、必要であれば動画撮影も実施している。 HUGという支援ツールにより、利用日毎の利用者の様子や支援内容を記録し、日々の朝礼で振り返りやフィードバックを行うようにしている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	定期的にモニタリングを行っており進捗状況の確認を行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	3	振り返りや目標設定の中で自覚を育くみながら、自分で考えて行動する力を育てることに繋がる内容を取り入れている。	現在は地域交流の機会の提供を行えていないが、社会性や適応力を育くみ、地域の一員としての経験を積むためにも今後積極的に検討していきたい。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	2	自分でしたい制作やどんな材料が必要かななど、自分で決める経験を通して、主体性や判断力を育めるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	0	9		まだ相談員を対象とした利用者がおらず、相談員を含むサービス担当者会議があまり開かれていない状況ではあるが、行われる際には児発管と担当職員が参画するように努めたい。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	まだ十分な連携関係とまでは至っていないが、地域エリアの他事業所様と、自事業所の特色などを把握し、必要に応じて地域連携を行っていけるような連絡会に参加している。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	2	最近の様子など、送迎時にお聞きするようにしている。 月間スケジュール、行事予定等は保護者からいただいている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	マンスリーレポート配布をして児童の活動状況を共有している。 園や学校など、安定的に利用出来ることを目指し、必要に応じて見学や面談を行い情報共有させていただいている。	今後も面談や見学、送迎時も含め情報共有を行っていき、連携を尚一層努めていきたい。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	9		現在、対象児がいないが、必要に応じて対応に努めたい。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	7	松山市の連絡協議会に参画し、必要に応じて助言等いただける機会を設けている。	連携及び意見交換等の機会を確保していくことは大事なため、必要に応じて連携を取っていきたい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9		現在行えていないが、地域の中での、活動及び交流を深める機会がより確保できるよう検討したい。

	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	9	現在参加できていないため、必要に応じて参加を検討していかたい。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時やお迎えに来られた際など日々の支援の様子を利用時毎にお伝えしている。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	9	必要に応じて、特性に合わせえた接し方や声の掛け方をお話させていただいているが、保護者参加による研修や勉強会といった形では行えていないため、ニーズに合わせ検討していかたい。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	管理者が契約時に丁寧に説明をするよう努めている。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	面談を定期的に行い、本人、保護者の意向や要望を伺った上で作成をしている。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	紙面にて目を通していくながら、内容を説明し同意を得るようにしている。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	定期的な面談、および茶話会を実地。相談や助言については、必要に応じた対応に努めている。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	9	現在、行えていないため、保護者交流会の実施を検討中である。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	スタッフ間で周知し、迅速に対応出来るよう努めている。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	3	マンスリーレポートとして、紙面にて月毎に情報紙を配布している。また、LINEを活用し、連絡体制の強化を行なっている。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	データや書面など持ち出し禁止といったルールの下、鍵付き書庫にて保管しながら取り扱っている。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	言語だけでなく視覚的サポートや、喋りやすい状況を意識するように努めている。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6	地域内でのニーズや認知度をさらに高めていくため、必要に応じて検討したい。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	マニュアルを策定し、定期的に研修、訓練を行っている。
	47 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	BCPを策定し、定期的に研修、訓練を行い、毎年見直しを行なっている。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	初回アセスメント時や契約時にてんかんや発作、アレルギー等は確認するようにしている。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	現在、飲食の提供は行なっていないが、保護者からのアレルギーによる留意を共有している場合には、医師の指示に基づいた対応に努めている。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全計画を作成し、訓練の実施や安全指導などを行なっている。1年毎に実施時期や内容の見直しも行なっている。
	51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	月毎に配布しているマンスリーレポートにて、実施内容の報告を行うことや、事業所内入口にていつでも見られるように設置している。

	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	報告書を作成し、発生時翌日の朝礼やMTGにて共有、検討して再発防止に努めている。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	定期的な研修を行い、虐待についての知識や意識を高めるようにしている。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0		現状では発生していませんが、定期的な研修を実施しながら、やむを得ない状況が想定される場合には、事前に保護者の方へ説明と同意をいたたぎ、支援計画に反映するよう努めています。